

## 1. 略歴

- 1989年4月 東京大学教養学部理科一類入学
- 1993年3月 東京大学教養学部教養学科第二（フランスの文化と社会）卒業
- 1993年4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（仏語仏文学専攻）入学
- 1995年3月 同 修了
- 1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程（欧米系文化研究専攻）進学
- 1995年10月 パリ第三大学博士課程入学（フランス文学・文化）
- 2000年7月 同 博士学位（文学）取得
- 2001年3月 東京大学大学院博士課程単位取得退学
- 2001年4月 北海道大学大学院文学研究科 助教授
- 2005年4月 早稲田大学理工学術院理工学部 助教授
- 2007年4月 早稲田大学理工学術院創造理工学部 准教授
- 2010年4月 同 教授
- 2012年4月 京都大学大学院地球環境学堂 准教授
- 2015年4月 京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授
- 2016年4月 同 教授
- 2018年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

フランス近現代文学

### b 研究課題

- (1) ジョルジュ・ペレック研究。制約下の創作や日常の探求という観点から検討している。
- (2) レーモン・クノー研究。特異な〈知〉の概念の検討。
- (3) 都市や集合住宅をめぐるドキュメンタリー文学の研究。

### c 概要と自己評価

(1) ペレックによる日常の探求の記録を翻訳し『パリの片隅を実況中継する試み』（水声社）として刊行した。また、ウリゴ美学とロマン主義美学の関係をめぐるカナダにおける研究集会で発表を行い、成果を論文として発表した。『煙滅』における「不在」の象徴の変化をめぐる論文を専門誌に発表した。

(2) クノーと映画の関係について研究集会で発表した。また、中期の小説を対象に知恵の概念を検討した著作を執筆し現在刊行準備中である。

(3) 都市の遊歩と対比する意味で、経路があらかじめ定められた移動の表象について考察し、オーストラリアにおける研究集会で発表を行い、成果を論文として発表した。

### d 主要業績

#### (1) 論文

塩塚秀一郎、「現代フランス文学における道行きと束縛をめぐる」、『文化交流研究』、no 32、28-30 頁、2019.2  
Shuichiro SHIOTSUKA, « Le parcours littéraire de Perec comme « modèle structurel » du parcours artistique de quelques peintres dans *La Vie mode d'emploi* », *Le Cabinet d'amateur. Revue d'études perecquiennes* (revue en ligne), Association Georges Perec, 2019.9

Shuichiro SHIOTSUKA, « Le pouvoir d'évocation du lipogramme dans *La Disparition* – La signification de la contrainte et son évolution », *Cahiers Georges Perec*, n° 13, p.57-62, 2019.5

塩塚秀一郎、「流れからの〈逸脱〉が意味するもの：ジュリアン・グラック『狭い水路』における風景の呼びかけ」、『文学と環境』、no 22、5-13 頁、2019.5

#### (2) 書評

塩塚秀一郎、『ジョルジュ・ペレック 制約と実存』、『UTokyo BiblioPlaza』、2018.10

(3) 学会発表

国内、塩塚秀一郎、「Le cinéma comme sagesse du peuple-le mélange du réel et de l'imaginaire dans Loin de Rueil de Queneau  
」、Le cinéma des poètes、2018.12.15

国外、Shuichiro Shiotsuka、「Les méthodes mathématiques et la marge pour la verve artistique dans *La Vie mode d'emploi* de Georges  
Perc」、X prend Y pour Z : littérature, contrainte et mathématiques、ブリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)、2019.6.2

国外、Shuichiro Shiotsuka、「La potentialité d'autres « contraintes existentielles » antérieures ou extérieures à l'Oulipo : *Les eaux  
étroites* (1976) de Julien Gracq et *La Modification* (1957) de Michel Butor」、Les effets de l'Oulipo、ニュー・イングランド  
大学 (オーストラリア)、2019.12.12

(4) 翻訳

個人訳、Georges Perec、「Tentative d'épuisement d'un lieu parisien」、塩塚秀一郎、ジョルジュ・ペレック『パリの片隅を  
実況中継する試み』、水声社、2018.10

**3. 主な社会活動**

(1) 学会

日本フランス語フランス文学会関東支部幹事、2019.6~2020.2

文学・環境学会評議員、2019.4~2020.3

(2) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

小西国際交流財団日仏翻訳文学賞選考委員、2019.4~2020.3